

平成 24 年 2 月 7 日

各 位

会 社 名 フューチャーアーキテクト株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 金丸 恭文
(コード番号 4722 東証第一部)
問合せ先 執行役員 中島 由彦
(TEL (03) 5740 - 5724)

平成 23 年 12 月期 連結業績のお知らせ

1. 平成 23 年 12 月期連結業績について：

当社グループの平成23年12月期の連結業績は、

売上高	23,292百万円	(前期比 2.9%増)
営業利益	2,929百万円	(前期比 6.7%減)
経常利益	3,051百万円	(前期比 7.0%減)
当期純利益	1,715百万円	(前期比 7.8%増)

となり、当期純利益で過去最高益を達成いたしました。

各事業分野の特記事項は次の通りです。なお、文中のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高又は振替高を調整前の金額で記載しております。また、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用に伴い、セグメントの区分を一部変更しており、前年同期比較については、当該変更後の区分により組み替えた数値を用いております。

I Tコンサルティング事業は、主要な大規模プロジェクトをはじめとして多くのプロジェクトで納期を迎えましたが、プロジェクトマネジメントの強化や品質管理体制の適正化に力を入れた結果、概ね順調に稼動致しました。また、今後の核となり得るいくつかの新規顧客からの受注も獲得し、すでにプロジェクトが開始されています。同時に、付加価値のある運用保守案件（VAO）の獲得、エンタープライズ（大企業）向けE R P導入案件の獲得、金融機関向けクラウドサービスの開発など、今後の事業拡大のための活動を推進しました。さらに、東南アジア地域での I Tコンサルティング事業を展開するため、シンガポールに新会社North Consulting Group Pte. Ltd.を設立し、マレーシアのBrightree Solutions Sdn Bhd.を子会社とした他、タイの会社を買収して、東南アジアでのビジネスの橋頭堡を築きました。一方、天災等非常事態における事業継続性の確保に注力し、データセンターを東日本と西日本に分けて戦略的な分散利用を開始するとともに、従来の在宅勤務環境に加え、自家発電施設の整ったオフィスの賃借も開始しました。その結果、売上高は14,619百万円（前連結会計年度比4.9%増）、営業利益は2,570百万円（同14.7%減）となりました。なお、営業利益率は17.6%と、引き続き高利益率を堅持しております。

パッケージ&サービス事業は、FutureOne株式会社においては、グループ内で分散していた中小企業向け業務パッケージビジネスを統合し、ユーザーへの直接営業の強化や、統合ブランド「FUTUREONE」シリーズへの機能集約を行ったことにより、第4四半期には売上が大幅に増加しました。株式会社アセンディアにおいては、年間を通して受注が順調に推移するとともに、公共系の案件の売上や当社との連携による運用保守売上が着実に増加いたしました。その結果、売上高は4,497百万円（前連結会計年度比1.8%増）、営業利益は333百万円（同95.7%増）となりました。

企業活性化事業は、食品スーパーを営む株式会社魚栄商店において、これまで進めてきた自動発注やEDIシステムの導入などのITの利活用等の施策により、粗利益率が前年の22.5%から23.4%に改善したほか、効率的な広告戦略による販売管理費の抑制もあり、売上高は4,553百万円（前連結会計年度比1.5%増）、営業利益は31百万円（前連結会計年度は15百万円の損失）と、当社グループ化以来、初の通期営業黒字化を達成いたしました。

なお、平成23年12月期末の配当は、1株当たり750円を予定しており、中間配当と合わせ、1株当たり年間1,500円となる予定です。

2. 平成24年12月期業績予想について：

ITサービス市場では、景気の不透明感から全般的なIT投資の抑制傾向は継続すると見込まれるものの、IT投資により他社との差異化を図ろうとする企業のニーズは底堅く推移しており、さらにクラウド・コンピューティングの利用や運用保守の効率化によるコスト削減などのニーズは引き続き根強いものがあります。

このような中、当社グループの平成24年12月期の業績は、

売上高	24,800百万円	（前期比6.5%増）
営業利益	3,300百万円	（前期比12.6%増）
経常利益	3,330百万円	（前期比9.1%増）
当期純利益	1,930百万円	（前期比12.5%増）

を見込んでおります。各事業分野の特記事項は次の通りです。

ITコンサルティング事業は、当社グループの強みである分散リアルタイム処理技術による経営のスピード向上と、ダウンサイジングによるコスト削減のダブルの効果を中核としつつ、金融機関向け情報系システムをはじめとした様々なクラウドサービス、付加価値の高い運用保守サービス（VAO）、エンタープライズ（大企業）向けのERPなど新たなサービスの一層の拡大を図ってまいります。また、平成24年1月に、より専門的かつきめ細やかなITコンサルティングサービスを提供するため、各事業本部傘下の組織を再編いたしました。これにより、既存顧客との関係強化、新規顧客への提案力の向上、及びプロジェクトのマネジメント力の強化をより一層、強化してまいります。

一方、東南アジアにおいては、ERPの導入を中心に、既にスタートしている営業活動を本格的に拡大してまいります。さらに、アジア地域に進出する日本企業のIT活用の支援も行っていく予定です。

パッケージ&サービス事業は、FutureOne株式会社においては、直接営業の強化や新規販売チャネル開拓を継続しながら、強みとする顧客の業務を理解した上でのパッケージの提案を活かし、比較的規模の大きい中堅企業案件の獲得にも努めてまいります。また、デリバリーサービスのさらなる品質向上や次期パッケージ製品の開発、クラウドサービスの展開等に関しては、グループ各社との協力体制を一層強化してまいります。株式会社アセンディアにおいては、得意とする運用保守サービスやシステム受託開発において当社グループにおける連携の効果を発揮できるように努めてまいります。

企業活性化事業は、株式会社魚栄商店において、ITをさらに利活用していくことで、さらなる在庫管理の適正化を進めるとともに、ポイントカードの利用による顧客分析力を強化し、顧客満足度の向上、売上の拡大を図ります。

なお、平成24年12月期の配当は、1株当たり1,500円（うち中間配当750円）を予定しております。

（参考：平成24年12月期業績予想及び前期比）

	平成23年12月期 実績	平成24年12月期 予想	前期比
売上高	23,292百万円	24,800百万円	6.5%増
営業利益	2,929百万円	3,300百万円	12.6%増
経常利益	3,051百万円	3,330百万円	9.1%増
当期純利益	1,715百万円	1,930百万円	12.5%増
一株当たり当期純利益	3,756.80円	4,226.60円	+469.80円
一株当たり配当金	1,500円	1,500円	—

以上

●本件に関するお問い合わせ先：

フューチャーアーキテクト株式会社 IR担当 石田・池内

IR直通 Tel：03-5740-5724 電子メール：ir@future.co.jp